

令和3年度第1回学校評議員会 議事録

1 日 時 令和3年7月6日(火) 14:25～15:40

2 場 所 宮古高等学校 大会議室

3 参加者 学校評議員(4名)

菊地 裕 学校評議員 欠席

佐々木孝博 学校評議員 出席

坂下 正明 学校評議員 出席

鳥居 晋 学校評議員 出席

中村登志江 学校評議員 出席

※欠席者の委嘱状・学校概況資料は、全日制副校長が後日お渡しする。

学校側参加者(13名)

校長・事務長

(全日制) 副校長・総務主任・教務主任・生徒指導主事・進路指導主事

(定時制) 副校長・教務主任・生徒指導主事

(通信制) 副校長・教務主任・生徒指導主事

※上記の他、受付・記録係として、総務課員1名同席。

4 次 第

(1) 開会のことば

(2) 学校長挨拶

(3) 自己紹介

(4) 学校概況説明 … 学校概況説明資料による

①全日制(加藤副校長)

資料のとおり

- ・45分授業の実施にあたり、教員も授業内容を精選して臨んでいく。
- ・進路指導実績は昨年度は国公立大学合格率が57(.1)%と近年の中でもかなり高かった。難関大、岩手医科大学の合格者も出している。早くから先生と生徒の目線合わせが行われていた。生徒の希望する分野をしっかりと聞き取り、生徒に適した大学を提案し、生徒は全国各地へと進学をした。学年だけではなく、宮古高校全日製の職員全員で取り組んだ結果である。今年度も生徒の志望が叶うように努めていきたい。

②定時制(菊池副校長)

資料のとおり

- ・入学前に欠席が多い生徒も多いが、3・4年生欠席0と順調な学校生活を送っている。
- ・中学校の学び直しの場とし、ICT等を活用し授業を展開している。また、様々な生徒へ対応できるよう、全職員で生徒を見ている。
- ・定通併修制度(H6～)ここ数年では3年間で卒業する生徒はいない。
- ・県高総体卓球3位
- ・学校行事が多い。行事前後の指導に力を入れて取り組んでいる。授業時間確保のためにも50分授業への移行を考えている。

③通信制(大槻副校長)

資料のとおり

- ・スクーリング 日 50分 7校時 /水 必要な生徒の登校
- ・通信制は最長10年在籍が可能。
- ・修学旅行は杜陵高校との合同実施。協議の結果中止となっている。

・運動会も杜陵高校と合同実施のため中止。宮古高校独自の代替行事を検討中。

(5) 質疑応答

○佐々木評議員より

全日制の国公立合格率が高かったことにびっくりしている。たまたま優秀な生徒がいたのか、何かの成果なのか。どのような取り組みをしてきたのか。今年度はどうなのか。

A.学校

昨年度の実績においては学年において早く方針を出してもらい、早い段階から生徒の志望をつかめたことが大きかった。低学年時に国数英を固めて、3学年で理社を学習することを1年生の早い段階から見通しを持って取り組んできた。今年度は推薦49名、一般73名の合格となった。例年は半々くらいの人数であったが、粘り強く頑張り、一般での合格率が伸びた。今年度は昨年度以上に力のある生徒がいる。昨年度までの経験を踏まえて、継続して行えるように尽力している。1回限りではなく継続して行えるようにしていきたい。

昨年度の結果は良かったが、これが、当たり前に行われる学校であることが大切だと感じている。学校として、宮古高校のスタイルとして、志望のある生徒の希望を実現させる力をつけることができるように頑張りたい。

見通しをもった指導ができるかどうか大切であり、学年団の人の入れ替えをなるべくないようにしたい。学年のカラーはあるが、ひとつの学校に3つの方針がないようにしていきたい。

○佐々木評議員

盛岡三高で生徒数が伸びたことが4年前高P連で話題になった。成績がよかった。スポーツも活躍していたことによって知名度が上がった。活躍はその学校に行きたいという生徒募集につながる。せっかく進学率も上がり、スポーツも頑張っていることを広く情報発信していくことが必要である。今は情報が閉鎖されている状況ではないか。このような取り組みをすれば、生徒の絶対数は減っているが、沿岸からの募集人員が増えるのではないか。検討してほしい。

A.学校

中学校では学校説明会で発信をしている。HPの更新でPRはしている。

○佐々木評議員

ツイッターやフェイスブックなどで発信してはどうか。

○中村評議員

① 45分授業にすることについて

小学校45分、中学校は50分である。小学校に携わっていたこともあり、先生方が大変だろなと思って感心して聞かせてもらった。5分短縮するということは大変。よほど計画的な準備が必要で、よく英断されたと思う。45分のほうが集中力が続くのかもしれないが、先生方の反応はどうだったのか。

A.学校

→義務教育6時間授業 本校は7時間授業

新しい学習指導要領切り替えに合わせて改めて見直す機会でもある。45分になったから学力が下がることをしてはいけない。昨年度の3年生の課外も時間数を減らした。45分の授業をどうするかということ・何ができるかということ普段から考え、教科等の枠を越えて考えて職員で共有していくことで45分の中で学力が付くと考えている。

② 定時制・通信制の生徒について

小学校に携わっていたこともあり、生徒ひとりひとりをみて、救って進路指導をしてくださることに感謝している。進学率を上げてかつての宮古高校の栄光を取り戻すことも必要であるし、ひとりひとりにあった将来設計をしてもらえることにも感謝している。

(6) 評議員から

○佐々木評議員

ぜひ継続して、進学率を高くして、なおかつセンタースクールとしてスポーツも頑張してほしい。

○坂下評議員

入学者が少なくなったこともあるが、ラグビー部が合同チームとなった。これから心配なところもある。文武両道がひとつのモットーである。進学ももちろんだが、スポーツ等にも力を入れて指導を強化してほしい。

○鳥居評議員

管内の県立高校の生徒交流はしているのか。管内の学力向上のためにも切磋琢磨してほしい。

A.学校

部活等ではある。文化部では芸術展等合同などがある。総合的な探究の時間の発表において管内の学校生徒を集めてという企画もあったが、コロナ禍でなくなってしまった。

○鳥居評議員

宮古高校通信制ができた。今まで学校に足が向いていない生徒もいたと思うが、スムーズに通信制に通っているのか。

A.学校

99名在籍 不登校傾向の生徒もいる。年に数名除籍になる生徒もいる。

○鳥居評議員

多くの困っている生徒を救うためにも、一生懸命にやっている取り組みの内容を広く大々的にPRできたらいいいのではないか。

○中村評議員

学級数の減や受験の定員割れとなっているという現状においては競争するというより、統合・合同となってくる。子供がいないので、部活動の面などで苦勞してくる。部活の数を絞る。最初からどこかと合同とか、強化するなどの取り組みが必要ではないか。

小学校ではスーパーキッズの取り組みがある。広く競技を体験させてその中で子供たちが選んでいる。入学する前からそのような人物を把握することも必要ではないか。